

テーマ

## ～アンケート調査報告とフォトサーベイ解説～

主催 病理検査研究班

実施日時：令和2年9月25日（金） 19時00分～21時00分

会場：浦和コミュニティセンター 第13集会室 点数：基礎教科－20点

講演1：「ホルマリンおよびキシレン対策に関するアンケート調査報告」

講師：関口 久男（済生会栗橋病院）

講演2：「フォトサーベイを振り返る ～迷った問題から学ぶ～その①」

講師：小島 朋子（自治医科大学さいたま医療センター）

講演3：「フォトサーベイを振り返る ～迷った問題から学ぶ～その②」

講師：細沼 佑介（埼玉医科大学国際医療センター）

講演4：「フォトサーベイを振り返る ～迷った問題から学ぶ～その③」

講師：三鍋 慎也（防衛医科大学校病院）

参加人数：会員35名 賛助会員1名

出席した研究班班員：岡村卓哉、関口久男、森田繁、細沼佑介、高橋俊介、今村尚貴、小島朋子、谷内里穂、三鍋慎也

研修内容の概要・感想など

平成19年の特定化学物質障害予防規則等の改正から10年余りが経過し、この間、病理検査研究班では県内施設におけるホルマリンおよびキシレン対策の実態を把握すべく、アンケート調査を2回実施してきた。今回の研修会では、昨年実施した3回目の調査結果の報告と、過去のフォトサーベイで正答率の低かったものについて解説を実施した。

講演1は、ホルマリンおよびキシレン対策に関するアンケート調査報告を関口氏に行っていた。ホルマリン作業環境測定の実施数、第1管理区分であった割合、特定化学物質作業主任者の設置数等に関して、前回（平成27年）とのデータを比較し、いずれも増加がみられ、作業環境の改善が図られていることが推察された。

講演2では、小島氏から顎下腺および虫垂のマイクロ画像フォトサーベイについて提示があった。それぞれの臓器について解剖学的なあるいは組織学的な特徴を他臓器との比較を交えながら、わかりやすく解説いただいた。

講演3では、細沼氏から濾胞性リンパ腫、GIST、結腸スピロヘータの免疫染色やワルチンスターリー染色について解説いただいた。実際の染色手技に関する質問もあり、現場で使えるヒントが得られたのではないかと思われる。

講演4では、私、三鍋がマクロ写真撮影に関するフォトサーベイについて解説した。写真撮影時におけるカメラの絞り値による撮影像の変化を供覧し、マクロ撮影を行う際のベストなカメラ設定等を示した。

作業環境の改善傾向がみられたことは非常に喜ばしいことである。病理検査研究班としても、様々な情報提供が行えればと考えている。また、フォトサーベイは精度管理の一貫と

して行われているが、そこから学ぶべきことも多く含まれている。今回の研修会内容を、今後の業務に生かしていただけると幸いである。

(文責：三鍋 慎也)